

| | | | | | | |
|-------|-------|------|---|-------|------|-------|
| 指定校番号 | 31033 | 学級活動 | ○ | 生徒会活動 | 学校行事 | 別紙様式2 |
|-------|-------|------|---|-------|------|-------|

令和元年度生徒指導集中対策及び生徒指導実践指定校「特別活動の取組事例」

| | | | | | |
|-----|-----------|----|-------|--------|-------|
| 学校名 | 三原市立第三中学校 | 校長 | 有木 浩城 | 生徒指導主事 | 高田 直也 |
|-----|-----------|----|-------|--------|-------|

取組事例名 『三中チャレンジカップ』

取組における育てたい資質・能力

| 人間関係形成 | | 社会参画 | | 自己実現 | |
|---------------|---|------------|---|-----------|---|
| 「コミュニケーション能力」 | 1 | 「課題発見・解決力」 | 2 | 「高い志・使命感」 | 3 |

取組のねらい

- (1) 年間を通して縦割り集団で活動を仕組み、互いに競い合い、認め合い、励まし合う中で自治的集団をつくる。
- (2) 生徒が目的意識を高め、様々な行事や授業、点検活動等に主体的に取り組むことができる。
- (3) ピア・サポート活動をとおして、課題解決する力をつけさせる。
- (4) 3年生を中心に企画・運営をしていく中で、公正に行動し、進んで規則を守り、互いに協力して責任を果たすなど、社会生活に必要な態度を養う。

| 取組の具体的内容 | 取組の創意工夫 『「しん」化』 |
|----------|--------------------|
|----------|--------------------|

昨年度に引き続き、年間を通して縦割りの集団で活動を仕組み、学校行事や委員会の点検活動を行った。また、月ごとの全校集会で取り組む活動の詳細や結果を生徒会から発表し、活動を得点化した。以下が取組内容である。

三中チャレンジカップ年間計画

| 実施時期 | 実施内容 | 担当する委員会 (教科) |
|------|--------------------|-----------------|
| 4月 | 集団行動・校歌 | 保健体育科 |
| 5月 | 号令GP | 生活委員会 |
| 6月 | 自主勉強ノートGP | 生徒委員会 |
| 9月 | 運動会 | 保健体育科 |
| 10月 | 学習発表会(合唱) お弁当GP | 生徒会執行部 |
| 11月 | 号令GP | 生活委員会 |
| 2月 | 持久走GP | 保健体育科 |

左記にもあるように、縦割りの集団で行う三中チャレンジカップは昨年度からの取組である。昨年度の3年生や生徒会執行部が熱心に取り組む、三中の魅力の1つとなった。この取組をより発展させていくために、今年度の生徒会テーマを『三中を劇的に「しん」化させる』に設定し、生徒一人ひとりが自分なりの「しん」化をして、さらに活気ある学校づくりをしていけるよう指導した。



取組の成果と課題

生徒が主体的に学校行事や委員会活動に取り組むことで、やりがいを感じたり自己肯定感の向上につながったりしている。今後は、生徒の実態に合わせて改善し、教職員全員で目的意識を共有してより効果的な活動にしていく必要がある。